

OICの皆さん、おはようございます。

さて、使徒パウロは、ユダヤ人が神に対して正しい立場にないということについて、どのように語っているのだろうか。 Expositors Bible Commentary (EBC)から引用しましょう：

「パウロはユダヤ人の罪の問題について話を続けるが、今度は不信仰の要素に重点を置き、神の裁きから免れるという洗練された主張をする。彼の冒頭の問いかけは、破壊的な攻撃を反映していると言えます： 割礼を受けたユダヤ人であることに、どんな利点があるのでしょうか？パウロは、そのような利点がたくさんあることをほのめかすが、最初の利点から先には進展しないことに気づくのです。読者は長らく続きを待たされますが、やがてその全リストが示されます（ローマ 9:4-5）。

先週の日曜日、私はローマ人への手紙が、人種や過去の宗教に関係なく、クリスチャンだけが霊的なユダヤ人であり、神に選ばれた民であるという新約聖書の宣言であることを紹介した。割礼という肉体的な印は、神にとって救いには何の意味もありません。神は、キリスト・イエスを信じる信仰によってのみ得られる割礼の心を求めておられるのです。ローマ人への手紙9章に登場するユダヤ人については、Expositor's Bible Commentaryの引用を参照されたい。

ローマ 3.2) において、パウロはユダヤ人たちが聖典を忠実に保管していたことを評価している。歴史は、彼らが聖典を洞窟に保管し、後世のために安全に保管していたことを示しています。それゆえ、パウロはこう述べているのです： 主として、神の託宣が彼らに託されたからです。しかし、だからといって、彼らの永遠の運命が変わるわけではありません。それは、ただイエス・キリストの犠牲を信じる信仰によって生きることにかかっているのです。そして、ユダヤ人たちが守っていた神の御告げそのものを信じなかったことを、詳しく説明しています。

**R. v. 3 を読みましょう。**

私は1番目のポイントを、筆者の思考における次の説明または意味として、こう記しています：神の御言葉は不変であり、いつも真実である：神ご自身が変わらない方であるように。人々がそれを信じる必要はない。しかし、その力は、それを信じる人々の人生にのみ影響し、放たれる。

このように、3節では、彼らの不信仰が神の誠実さを無にしてしまうのでしょうか？そして4節では、神は禁じられている！

神は真実であり、すべての人は偽り者であるのです。次の聖書箇所に書かれているとおりの

詩篇 51 : 4 それは、あなたのことばが義とされ、あなたのさばきが勝つためです。

罪深い人は、パウロがローマ 3 章 5-8 節で述べているような理屈で、自分の罪を言い訳しようとするかもしれません：

5 節 しかし、もし私たちの不義が神の義を示すとしたら、私たちは何とすべきでしょうか。神は復讐することを不義とされるのでしょうか？

(私は人間的な観点から話しています。)この間違った理論は、次のように言い換えることができます：**私の罪は神を良く見せる！私が罪を犯すことで、神の義がよりはっきりと見え、全世界に示されるのだ。だから、神は不公平であり、不義である！**パウロは、神が“不義”であるというこの一節を書くことさえ、とても不快に感じていたことに注意してください。そこでパウロは、最近メーカーが販売契約書の多くの条項の最後に付けるような免責事項として、こう力強く述べています。彼は間違いなく、罪深い人間のように言っているのだ。これはパウロにとっては矛盾した、あるいはナンセンスな発言である：神は不義な行動で非難されているが、6 節では、神は禁じておられる！あるいは、決して。(Mounce)、あるいはアメリカ人は“**No Way!**”と言うのが好きだ。もちろん、「不義なる神」がどうして世を裁くことができるでしょう (6 節)。

**R. v. 7** パウロは、“嘘”という新しい言葉を使って、矛盾を繰り返しています。この言葉の力は、霊的世界では非常に神学的です。私の不義な行い”は、神には問題ないはずだという誤った考えは、聖なる神に対する罪深い人間である。しかし、聖書によれば、イエスがヨハネの福音書 8. 44 で、イエスに反対するパリサイ人たちにこう言われた。彼は初めから人殺しであり、真理に立たない。彼はうそつきであり、うその父だからである。それゆえ、私の偽りによって神の真実が神の栄光のために豊かになると主張することは、実際には、聖なる神に対する偽りの父サタンなのです。なぜ私はまだ罪人として断罪されているのでしょうか？それは、嘘の父サタンが罪に問われないように嘆願しているのです。これと同じような議論は、悪魔自身に対しても言えるでしょう！サタンの悪は明らかに、神の聖なる正義の本質を全世界に明らかにするものですが、次のように書かれています (**黙示録 20. 10**)。彼らを惑わした悪魔は、獣 (反キリスト) と偽預言者もいる、火と硫黄の燃える池に投げ込まれ、昼も夜も、いつまでも苦しめられる。

**8 節**では、不義を神に帰するこの最近のナンセンスな発言に対する反論が、明確な結論へと導かれている。なぜ、むしろ {言い換えれば} 「善をもたらすために悪を行おう」と言わないのか。

私たちが中傷的に非難されているように、また私たちが言っていると主張する者たちがいるように。彼らの非難は正当である”

パウロは、神に対してこのような冒流的な理屈を追求し、神を不義と裁き、悪魔を正義の味方として支持するユダヤ人やすべての人を非難することにためらいはありません。

ローマ 3. 9-20 人類の不義を宣言しています。

ローマ 3. 21-31 信仰による義認を宣言しています。聖霊が使徒パウロの弁論術を通して私たちに与えてくださった詳細を正しく説明するために、私は今日のメッセージをローマ 3. 24 で締めくくろうとしています。

ユダヤ人、異邦人を問わず、すべての人が完全に不品行な状態にあること、つまり「義人はいない」ことを述べている。

まず、非常に重要なことだが、彼は人類の完全な墮落について語る時、“私たち”という言葉を使っている。

3章9節 ではどうでしょう。私たちは彼らよりも優れていますか？

クリスチャンは、自分自身がどんな罪人よりも優れていると主張することはありません。これには、外見的に卑しい異邦人も、内面的に偽善的なユダヤ人も含まれます。パウロは、自分が示すすべての義が、信仰から信仰への神の賜物として受けたものであることを、はっきりと見てもらいたかったのです。

ローマ 3.10-18 ここでパウロは、詩篇、箴言、イザヤ書から、人類の完全な墮落を宣言する聖書の言葉に重要な変更を加えることから始めています。ここでパウロは、詩篇 14.1 や詩篇 53.1 の「善を行う者はひとりもない」の代わりに、ローマ 3.10 の「正しい者はひとりもない」の「正しい」という言葉を使っている。詩篇 14.1 や詩篇 53.1 のように “善を行う”よりも、“正しい”という言葉の方が、神の前でのその人の立場を強調しているのです。

**2番目のポイント** 聖霊はパウロの元ファリサイ人としての鋭い知識を用いて、律法を守るための人の行いを強調しないように、神の前での人の立場を強調されました。Expositors Bible Commentary (EBC)からの引用：「(1)人間のうちに罪が普遍的に存在することを確認すること、(2)人間存在のあらゆる面に罪が影響を及ぼすことを主張すること。「正しい者は一人もない。」

神との正しい立場の確信には、すべての人の現実の概念、普遍的な認識への訴えが含まれます。聖書は、人間の内面に善があると主張する現代の心理学者や教師を否定している。人は神に似せて造られているので、義のように見える属性があるかもしれないが、それは外的なものである。

エレミヤ書 17.9 の一節は、人の心、内なる人が、パウロの言う人間の完全な墮落に当てはまることを示している：

人の心は何よりも陰険で、それは直らない。だれが、それを知ることができよう。外見の下にある人間の心は、神にも見えます。詩篇 51.6) ダビデ王が殺人者としての悔い改めの詩の中で、聖霊は神が何を望んでおられるかを彼に悟らせました、

*あなたは、内なる部分に真理を望まれ、隠れた部分に知恵を得させられます。*

ローマ 3.19 私たちはローマ 1-2 章で、ユダヤ人であれ異邦人であれ、人がその罪のゆえに聖なる神の前に弁解の余地がないことを見ました。

パウロは今、律法の下にある人々の罪に焦点を当てようとしています。パウロは律法の下にある者、つまりユダヤ人を用いていますが、全世界の人が神に対して責任があることを明確にしています。律法とは、主にエジプトから脱出したイスラエル人にモーセを通して与えられた十戒を意味します。しかし、(エレミヤ 17.9) 誰がそれを知ることができるのかという問いに対する答えを、神の言葉は宣言しているのです。神はそれを全人類のために知って

おられ、また各個人のためにも知っておられます。ローマ 3.10-18) に示されているように、人類は、その罪のために、神の御座の前ですべての人類、すなわち世界に責任を負わせるのです。

R.20 それゆえ、律法の業によって、神の目の前に義と認められる者はいません。それゆえ.....。

いかなる肉も、人間も、彼らがこれまでにしたこと、あるいはこれからすることによって、神の目において正しくされたり、義とされたりすることはないのです！

ローマ 2 章で見たように、パウロは律法を知らない異邦人による“善い行い”まで律法を拡大解釈しています：これは、すべての人がクリスチャンになることを望む理由と完璧に一致しています。それは信仰による義なのです。

R.21 しかし今、律法から離れて、神の義が明らかにされています。預言者たちによる旧約聖書には、イエスがユダヤ人と異邦人の両方を含む世界の救い主であることを指し示す箇所が、実に何千もあります。私の記憶では、イザヤ書が最も明確です。では、一緒に読みましょう：いざイザヤ 53 章 1-5 節

1 私たちの聞いたことを、だれが信じたか。主の御腕は、だれに現れたのか。

2 彼は主の前に若枝のように芽ばえ、砂漠の地から出る根のように育った。彼には、私たちが見とれるような姿もなく、輝きもなく、私たちが慕うような見ばえもない。

3 彼はさげすまれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で病を知っていた。人が顔をそむけるほどさげすまれ、私たちも彼を尊ばなかった。

4 まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みをになった。だが、私たちは思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだと。

5 しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。

そこにすべてが書かれています！あるいは、イザヤ書 53 章にあるように、そこにすべてがあるのです。

## 53.2 外見はハンサムではなく、地味

.3 (説教と奇跡のために) 軽蔑され、ゲッセマネでは弟子たちにさえ見捨てられた。

.4 罪人として十字架上で裁かれた

.5 私たちのために十字架上で私たちの罰を受け、打ち砕かれた。

.6 彼の傷によって、私たちは癒される

神の義は、“イエス・キリストを信じる信仰によってのみ”人間の人生に影響を与え、力を解放します。イザヤ書 53.6 にある「私たちが癒される」という言葉は、イエスを信じる私たち

に対してだけである。

3番目のポイント 神の無条件の愛には条件があります。罪人には無償で与えられるが、救いには信じるという条件が付くのです。それもまたギフトですが、私たちはそのギフトを受け入れなければなりません。エペソ 2.8 で明らかなように

あなたがたは、恵みのゆえに、**信仰**によって救われたのです。それは、自分自身からでたことではなく、神からの賜物です。

22節を読む この神の義は、イエス・キリストを信じる信仰によって、すべての人に、また信じるすべての人の上に与えられるのであって、そこには何の区別もないからです。パウロはローマ人への手紙1章から3章21節で、忍耐強く罪を断罪し、ユダヤ人と異邦人という全世界で唯一の二つの文化集団を解体しました。今、イエスの福音が必要とされているのは、この2つのグループであり、全世界を意味します。パウロは、すべての人に対する神の解決策を示します。そのひとり子イエスである。...このように、イエス・キリストを信じる信仰によって神の義を受けるのに、ユダヤ人と異邦人との間に区別はありません。

23 すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができません、

24 ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いのゆえに、価なしに義と認められるのです。

同様にローマ人への手紙1-2章から、「すべての人は罪を犯した」とあり、神の{無償の好意}によって自由に義とされたことが強調されています。“自由に”という言葉は、罪人に対する神の態度と願いを示しています。神は、あなたが罪を犯したい以上に、あなたを赦したいのです！

ポイント1 神の御言葉は不変であり、常に真実である！人々がそれを信じる必要はない。しかし、その力は、それを信じる人々の人生にのみ影響する。

ポイント #2 聖霊はパウロの元ファリサイ人としての鋭い知識を用いて、律法を守るための人の行いを強調しないように、神の前での人の立場を強調した。

ポイント #3 神の無条件の愛には条件がある。罪人には無償で与えられるが、救いには信じるという条件がある。それもまたギフトであるが、私たちはそのギフトを受け入れなければならない。

共に祈りましょう。

## 参考文献

{...} Pastor Bruce's paraphrase of Scripture

EBC- Expositor's Bible Commentary (Abridged Edition): New Testament  
Copyright 2004.

MEV - Modern English Version, The Holy Bible Copyright © 2014 by Military Bible  
Association. Published and distributed by Charisma House. -

MOUNCE - The Mounce Reverse Interlinear™ New Testament (MOUNCE) Copyright © 2011  
by William D. Mounce. Used by permission. All rights reserved worldwide. "Reverse  
Interlinear" is a trademark of William D. Mounce.